

日本をつなぐ ～アクセスをいつまでも～

研究者、研究機関、図書館員、図書館、出版社、教育者、教育機関、IT技術者、情報サービス提供者、研究助成機関、学会等とともに学術情報へのオープンで持続的なアクセスを提供してまいります。

ジャパンリンクセンター 5つのストラテジー

- ・ DOI やメタデータがオープンに活用されることを推進します。
- ・ 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等の多様性を生かした DOI の登録環境を整備します。
- ・ 学術において必要な様々なリソースに ID を付与する環境を構築します。
- ・ 研究データの利活用を促進し、オープンサイエンスの実現に貢献します。
- ・ コミュニティの醸成に貢献します。

ジャパンリンクセンター ストラテジーを遂行するための5つのアクション

1. 研究者が利用する様々なリソースに DOI を登録できるようにします。

現在 DOI 登録をしている書籍、論文、研究データ、eラーニング教材などの情報リソースに加えて、必要に応じて実験サンプル等の実リソースも含めた研究リソースも対象とします。それにより、論文等で実リソースを参照できるようになり、研究の再現性向上に寄与します。

そのための第一歩として、研究者にとって必要なリソースが何であるのかニーズを調査し、それらに DOI を登録するためのガイドラインを作成します。

2. 外部機関とのメタデータ連携促進、メタデータ検索機能の充実、DOI の利用状況の提供に取り組みます。

様々なサービスにおいて JaLC のメタデータを活用できる環境をつくり、コンテンツの流通促進に貢献します。また、DOI の利用状況に係るデータを提供します。

メタデータ検索機能の充実については、一般利用者も利用できる DOI・メタデータの検索サービスを開始します。また、JaLC のメタデータをファイルにて一括で一般に公開し、様々なかたち

で JaLC のメタデータが利活用される機会を提供します。

DOI 利用状況の提供については、JaLC 会員に対して、登録した DOI の利用統計や、被引用の状況が把握できる手段を提供します。

3. グローバルな研究 IT インフラとして、研究に関わる他の ID サービスとの連携を強化します。

DOI に関するサービスを基幹としつつ、他の文献 ID、研究者 ID、機関 ID サービスと連携して、より良い研究インフラの整備に貢献します。

そのための第一歩として、JaLC DOI が登録されたコンテンツについて、ORCID との連携を強化します。

4. 研究環境の変化に応じた柔軟なサービス開発体制を構築します。

研究環境の変化に迅速に対応するためステークホルダーと共にサービスを開発します。サービスを実現するためのシステムの基幹部分の開発は JaLC が担う一方、応用・発展的な部分は提案型などの方法によりステークホルダーと共に開発できる体制を構築します。

5. 研究者、研究機関、図書館員、図書館、出版社、教育者、教育機関、IT 技術者、情報サービス提供者、研究助成機関、学会等を含む広範なコミュニティの醸成を図ります。

日本国内における DOI 普及のためにコミュニケーションを促進します。また、コミュニティ醸成による学術活動の自律的な発展を促します。

そのため、「対話・共創の場」を毎年開催します。また、より広い枠組みで研究情報について議論するため、「研究データ利活用協議会」を発展させ、日本におけるオープンサイエンスの核となる場とすることを目指します。